

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【公開番号】特開2015-205965(P2015-205965A)

【公開日】平成27年11月19日(2015.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2015-072

【出願番号】特願2014-85773(P2014-85773)

【国際特許分類】

C 08 L 21/00 (2006.01)

C 08 J 5/18 (2006.01)

C 08 L 23/26 (2006.01)

【F I】

C 08 L 21/00

C 08 J 5/18 C E Q

C 08 L 23/26

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月14日(2017.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱可塑性エラストマー(A)と共役ジエン改質ポリプロピレン系樹脂(B)からなる非発泡シート用樹脂組成物であって、

共役ジエン改質ポリプロピレン系樹脂(B)のMFR(230、2.16kg)が0.1~10g/10分であり、

共役ジエン改質ポリプロピレン系樹脂(B)の200での動的粘弹性測定における角振動数1rad/sでの損失正接(tan)が2.0以下であることを特徴とする非発泡シート用樹脂組成物。

【請求項2】

熱可塑性エラストマー(A)が下記1)から3)を満たすことを特徴とする請求項1に記載の非発泡シート用樹脂組成物。

1) MFR(230、2.16kg)が0.1~10g/10分

2) 密度が0.85g/cm³以上0.88g/cm³以下

3) プロピレン含有量が50重量%以上

【請求項3】

非発泡シート用樹脂組成物に含まれる(A)と(B)の合計を100重量部とし、熱可塑性エラストマー(A)60~97重量部と、改質ポリプロピレン系樹脂(B)3~40重量部を含むことを特徴とする請求項1又は2に記載の非発泡シート用樹脂組成物。

【請求項4】

非発泡シート用樹脂組成物に含まれる(A)と(B)の合計を100重量部とし、熱可塑性エラストマー(A)90~97重量部と、改質ポリプロピレン系樹脂(B)3~10重量部を含むことを特徴とする請求項1又は2に記載の非発泡シート用樹脂組成物。

【請求項5】

請求項1~4のいずれかに記載の非発泡シート用樹脂組成物から得られる非発泡シート。

【請求項 6】

請求項5に記載の非発泡シートを加熱成形して得られる非発泡シート成形体。

【請求項 7】

請求項6に記載の非発泡シート成形体が自動車部品用であることを特徴とする非発泡シート成形体。